

ワクチンの同時接種について

今の赤ちゃん（生後2か月～）は受けるワクチンがたくさんあります。これは、昔はワクチンがなかったために罹患し命を落としたり、重大な後遺症が残ったりしていた病気も今は予防できるようになったということを意味しています。命に関わる病気からお子さまを守るためには、より早い時期にワクチンを受けておく必要があります。（具体的には生後2か月～6か月の間に6種類、計14回接種あります。）そのため当院では、なるべく同時接種（2本以上のワクチンを同日に接種すること）をお勧めしています。

同時接種をしても、抗体はそれぞれにちゃんとつくことが分かっていますし、同時に打つからといって副反応が増大することはありません。ただし副反応についてはそれぞれの足し算となり、どのワクチンの副反応かは分かりにくくなります。また、単独で打っても副反応は出る事があります。

日本小児科学会では、2011年から「同時接種は、日本の子どもたちをワクチンで予防できる病気から守るために必要な医療行為である」との表明をしています。

今まで当院では、同時接種をされる方に毎回同意書を書いていただいていたおりましたが、だいぶ浸透してきたと思われますので、2016年4月より同意書は廃止することにしました。

ワクチンについて何か質問等ありましたら、医師に何でもお尋ねくださいますようお願いいたします。

2016年3月 小嶋医院